

# 令和2年に叙勲・褒章を受章された皆さん

(発令順)

受章おめでとうございます。  
各界で長年の功績により、受章された皆さんをご紹介します。

## 叙勲・褒章とは…

国家または公共のために功労のあった方に対し勲章が授与されることを「叙勲」、様々な社会的分野において優れた業績のあった方に、褒賞の記章が授与されることを「褒章」といいます。生存者に対する叙勲・褒章は、春秋叙勲、春秋褒章や88歳以上の方を対象とした高齢者叙勲、著しく危険性の高い業務（警察官、消防吏員、自衛官等）に精励された方を対象とした危険業務従事者叙勲などがあります。

### ◇瑞宝双光章 やぎゅう みのる 柳生 実さん（警察功労）



昭和43年に茨城県巡査に任命以来、警視正まで昇任され、平成21年に警察本部警務部教養課長で退職されるまで、つくば北警察署長、牛久警察署長等の要職を歴任、長きにわたり多くの部門で活躍されました。特に刑事部門では、豊富な経験と強い正義感、責任感を持って多くの事件を検挙・解決され、茨城県の治安維持に大きく貢献されました。

### ◇瑞宝双光章 ほりえ おさむ 堀江 修さん（消防功労）



昭和48年に旧大宮山方地区消防事務組合消防士として奉職以来、重職を歴任、消防長として消防組織の確立強化と施設等の整備拡充、職員の教育向上等、消防行政に尽力されました。特に東日本大震災で被災した消防本部・東消防署庁舎の仮設庁舎設置、新庁舎建設に際し、次長兼総務課長として迅速に対応され、消防拠点施設としての機能維持に貢献されました。

### ◇藍綬褒章 てらかど みつのり 寺門 光文さん（統計調査功績）



昭和50年に農林業センサス調査員に任命以来、同調査に9回あたられたほか、国勢調査、事業所・企業統計調査、工業統計調査、商業統計調査、茨城県農業基本調査等、数多くの統計調査に合計46回従事され、長きにわたり統計調査の推進に貢献されました。また、消防団員として多くの火災等に出動され、地域防災にも尽力されました。

### ◇旭日双光章 いさか ざんまい 井坂 残米さん（文化財保護功労）



昭和46年に刀剣鑑定師に認定され、その卓越した技量により、平成2年から現在まで長きにわたり茨城県銃砲刀剣類登録審査委員として、銃砲刀剣類の保護及び保存に貢献されました。また、平成16年から常陸大宮市文化財保護審議会委員、特に平成28年からは同会長として、刀剣類にとどまらず地域の多くの文化財の保存・活用に尽力されています。

### ◇瑞宝双光章 せや のりお 瀬谷 憲雄さん（国土交通行政事務功労）



昭和40年に運輸省に奉職以来、平成14年に関東運輸局神奈川陸運支局長で退職されるまで、国土交通事務官として輸送業務を中心に運輸行政に尽力されました。退官後は社団法人茨城県バス協会において運輸関係業務に従事され、通算47年の長きにわたり豊富な経験と高度な知識により運輸業界の健全な発展に貢献され、社会公共の利益の増進に寄与されました。

### ◇瑞宝双光章 もがき え 茂垣 きよ江さん（社会福祉功労）



昭和46年の大宮みのり保育園の開設時から保育士として長年、乳幼児保育に尽力。平成5年から特別養護老人ホームみのり園の施設長として、平成24年からは小規模特別養護老人ホームみのりの森の施設長を兼務され、介護保険の理念と地域に根付いたサービスの実践に努められ、長年にわたり高齢者福祉の向上、地域の高齢者サービスの充実に貢献されました。

### ◇瑞宝双光章 おのせ としゆき 小野瀬 利行さん（教育功労）



昭和28年に染和田中学校（現常陸太田市）教諭として奉職以来、平成5年に緒川村立緒川中学校長で退職されるまで長きにわたり、教育に対し深い識見と強い信念を持って教育の諸活動を展開、学力・体力の向上、生徒指導の充実に専心され、また管理職として学校施設の維持・管理面についても尽力し、教育の振興発展に貢献されました。

### ◇瑞宝小綬章 ささぬま みつり 笹沼 光典さん（教育功労）



昭和49年に県立高萩工業高等学校の電気科教諭として奉職以来、平成20年に県立水戸工業高等学校長を退任されるまで、長きにわたり人間性豊かで確かな技術力を備える生徒の育成に努めるとともに、教育庁では県立高校の入学選抜の導入や学科改編、再編整備計画に基づく統合と開校など、高校教育改革に尽力され、本県教育の振興発展に多大な貢献をされました。

### ◇瑞宝双光章 かみくぼ よういち 上久保 洋一さん（教育功労）



昭和48年に玉造中学校（現行方市）教諭として奉職以来、平成21年に大宮小学校長で退職されるまで長きにわたり、学校現場で教育の諸活動に尽力されました。退職後は平成21年から平成30年まで市教育委員会教育長を務められ、学校の統廃合や校舎改築などの教育環境の整備、郷育立市宣言の作成に尽力されるなど、教育の振興発展に貢献されました。

### ◇瑞宝単光章 てらかど かずお 寺門 一夫さん（消防功労）



昭和50年に旧大宮町消防団に入団以来、班長、部長、分団長を歴任され、現在は本部員（分団長格）として、長きにわたり住民の生命、財産を守るため、日夜献身的に消防活動に精励され、消防団の発展に貢献されました。分団長として消防施設の整備拡充に尽力されたほか、災害現場では抜群の状況判断と指揮・行動力を発揮されており、多大な功績を残されました。